

にし

広報よこはま

区版

〒220-70 西区役所・広報相談係 ☎320-8321 電314-8894

西区のシンボルマーク

西

No.578
平成9年4月
(1997年)

区の人口.....74,819
世帯.....33,355
平成9年3月1日現在

すばと西 168

西区・銭湯めぐり.....【東湯】

Vol.13

所在地：東久保町35-22
開業：昭和19年ころ

泡の出る実母散の葉湯が人気の東湯は、昭和19年、戦火を避けて東京麻布から移ってきました。12歳の時に叔父の銭湯で働き始めて以来、銭湯一筋に生きてきたさん(86)。「昔は廃材を集めるため荷車を引っ張って歩きました。一晩中寝ずに集めなければ間に合わなかったこともありました。働き者じゃなければ続けてこれませんでした」と、今も元気に働いています。



春まつ盛り

散策に出かけませんか

春の陽気に誘われて、桜の咲き誇る街へ、ちょっと散歩に出かけてみませんか。名所・旧跡を訪ね歩きながら、歴史をひも解くもよし、変わりゆく街並みを眺めながら、意外な発見やちょっとした冒険を試みるのも楽しいと思います。

区役所では、気軽に散策を楽しめるモデルコースと名所・旧跡を紹介した、手軽に持ち歩ける「西区ガイドブック」(有料)を作製しました。今月号では、桜の名所の一つである掃部山(かもんやま)公園が入っているコースを紹介し、家族や友だちと誘い合せて、さあ、街へ出かけましょう。

■水天宮・平沼神社(平沼2-8-10)

天保10年(1839)5代目平沼九兵衛が、平沼新田の総鎮守として現在の平沼橋付近に水天宮を祭ったのが始め。湯立神事を毎年1月5日午前10時に行っている。この湯を飲むとかぜをひかないといわれている。

■久成寺平沼(20-26)

平沼新田を完成させた7代目平沼九兵衛が、夫人の安産と子の健康を鬼子母神(きしもじん)に祈願し、かなえられたことからお堂を建てて祭ったのが始め。

■京急平沼駅跡

京浜急行の横浜～戸部で廃虚のままの駅を通過する。昭和6年(1931)、京浜急行(当時は京浜電気鉄道)が横浜～日ノ出町に開設した時に誕生。その後、昭和20年(1945)4月4日の爆撃で焼失し、現在に至っている。

■杉山神社(中央1-13-1)

社伝によると創建は白鳳3年(652)、出雲大社の神、大己貴命(おおぬちのかみ)の分霊を祭ったもの。大己貴命とは大国主命のこと。

■伝御所五郎丸墓

御所五郎丸の墓と伝えられる五輪塔。五輪塔は鎌倉時代から室町時代にかけて多く作られた武士や僧侶などの墓や供養塔。門の右側の大理石板には、曾我兄弟が父の仇(かたき)を討ったときに五郎丸が助けたという話などが刻まれている。



■掃部山公園(紅葉ヶ丘57)

掃部山は、江戸時代には「不動山」、明治に入ってからしばらくは、この地が鉄道建設の拠点だったことから「鉄道山」と呼ばれていた。明治17年(1884)に旧彦根藩士の有志が、元藩主の井伊掃部頭直弼(いいかものかみのおすけ)の記念碑建設のため、この山を井伊家の所有にしたことから掃部山に変わったという。

■神奈川奉行所跡

横浜開港後の安政6年(1859)6月4日に開設され、前年7月以来開港準備を担当してきた水野筑後守ら5人の外国奉行全員が当初の神奈川奉行を兼任し、交代で横浜の初期の行政事務を処理していた。

■伊勢山皇大神宮(宮崎町64)

もと戸部村東部の伊勢山(現在の掃部山公園東北端辺り)にあった大神宮を明治3年(1870)、現在地に移して伊勢山皇大神宮として、横浜の総鎮守と定めた。

■成田山横浜別院延命院(宮崎町30)

本尊は不動明王。明治3年(1870)本山成田山新勝寺より分霊を勧請(かんじょう)したので始め。通称野毛不動尊と呼ばれている。(西区ガイドブックから抜粋)

掃部山コース (全行程 4725m)

- 平沼橋駅→1分→水天宮・平沼神社→2分→久成寺→2分→平沼駅跡→4分→石崎川プロムナード 敷島橋→8分→花の楽園→7分→戸部公園→1分→杉山神社→6分→伝御所五郎丸墓→5分→御所山公園→3分→岩亀横町・岩亀稲荷→2分→掃部山公園→1分→横浜能楽堂→4分→稲荷神社・庚申塔→3分→神奈川奉行所跡→1分→金星太陽面経過観測記念碑→2分→横浜離宮跡(東京三菱銀行宮崎社宅)→2分→伊勢山皇大神宮→1分→旧原久吉邸(県議会会館)→2分→成田山横浜別院→2分→野毛子之大神社跡地・日本近代水道最古の水道管(ちえる野毛敷地内)→5分→ガス灯記念碑(本町小学校)→4分→桜木町駅



四月下旬から
横浜市刊行物サービスコーナー、区役所売店

定価五百円
ポケットサイズ
問合せ 広報相談係
☎320-8321
電314-8894